

米子市水道事業審議会 議題 1
令和 6 年 8 月 9 日
米子市水道局 総務課

第 3 7 回 米子市水道事業審議会 資料

・ 令和 5 年度決算について

【注記】

金額は、原則として千円単位で表示しています。

単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計、差引き等が一致しない場合があります。

1 業務の状況

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	増 減	増 減 率 (%)	摘要
給水戸数 (戸)	77,420	77,827	78,260	433	0.6	米子市 境港市 日吉津村
給水人口 (人)	181,554	180,597	179,128	△ 1,469	△ 0.8	
配水量 (m³)	22,200,309	21,841,009	21,446,220	△ 394,789	△ 1.8	
給水量 (m³)	20,220,833	19,809,013	19,509,304	△ 299,709	△ 1.5	
有収率 (%)	91.1	90.7	91.0	0.3	—	

2 収益的収支 (金額は税抜き)

①収益的收入

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	増 減	増 減 率 (%)	摘要
総収益	3,363,656	3,309,266	3,289,298	△ 19,968	△ 0.6	
給水収益	2,757,579	2,701,395	2,673,416	△ 27,979	△ 1.0	水道料金収入
その他収益	606,077	607,871	615,882	8,011	1.3	

②収益的支出

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	増 減	増 減 率 (%)	摘要
総費用	2,923,099	2,959,703	2,905,522	△ 54,181	△ 1.8	
営業費用	2,766,462	2,810,162	2,754,062	△ 56,100	△ 2.0	資産減耗費の減
営業外費用	155,110	148,717	145,438	△ 3,279	△ 2.2	支払利息の減
特別損失	1,527	824	6,022	5,198	630.8	災害支援

③当年度純利益

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	増減	増減率 (%)	摘要
純利益 (損失)	440,557	349,563	383,776	34,213	9.79	

3 資本的収支（金額は税抜き）

①資本的收入

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	増減	増減率 (%)
総収入	998,343	664,609	942,786	278,177	41.9
企業債	690,000	390,000	540,000	150,000	38.5
固定資産売却代金	1	8,513	14	△ 8,499	△ 99.8
工事負担金	227,385	192,963	257,466	64,503	33.4
他会計出資金	4,610	4,724	3,728	△ 996	△ 21.1
補助金	76,347	68,409	141,578	73,169	107.0

②資本の支出

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	増減	増減率 (%)
総費用	2,085,384	1,890,976	2,103,382	212,406	11.2
建設改良費	1,489,374	1,268,178	1,443,764	175,586	13.8
企業債償還元金	596,010	622,798	659,618	36,820	5.9

③資本的収支不足額

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	増減	増減率 (%)
資本的収支不足額	△ 1,087,041	△ 1,226,367	△ 1,160,596	65,771	△ 5.4

4 補てん財源

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	増減	増減率 (%)
損益勘定留保資金	941,137	961,385	928,518	△ 32,867	△ 3.4
繰越利益剰余金	145,904	264,982	232,078	△ 32,904	△ 12.4

5 内部留保資金

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	増減	増減率 (%)
減債積立金	304,200	321,700	340,900	19,200	6.0
その他積立金	29,309	29,309	0	△ 29,309	皆減
繰越利益剰余金	3,280,876	3,437,244	3,599,051	161,807	4.7
合計	3,614,385	3,788,253	3,939,951	151,698	4.0

6 性質別収入及び支出

(1) 事業収入に関する事項

(金額は税抜き)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	増減	前年度比 (%)
水道料金	2,757,579	2,701,395	2,673,416	△ 27,979	99.0
手数料	12,515	11,836	9,600	△ 2,236	81.1
その他	107,914	121,201	130,301	9,100	107.5
付帯事業収益	114,587	104,602	100,898	△ 3,704	96.5
加入者納付金	44,179	37,522	35,258	△ 2,264	94.0
長期前受金戻入	326,881	332,711	339,825	7,114	102.1
合計	3,363,655	3,309,267	3,289,298	△ 19,969	99.4

◆「その他」…R5年度より西部地区3町の水質検査受託料収入があり増加

(2) 事業費に関する事項

(金額は税抜き)

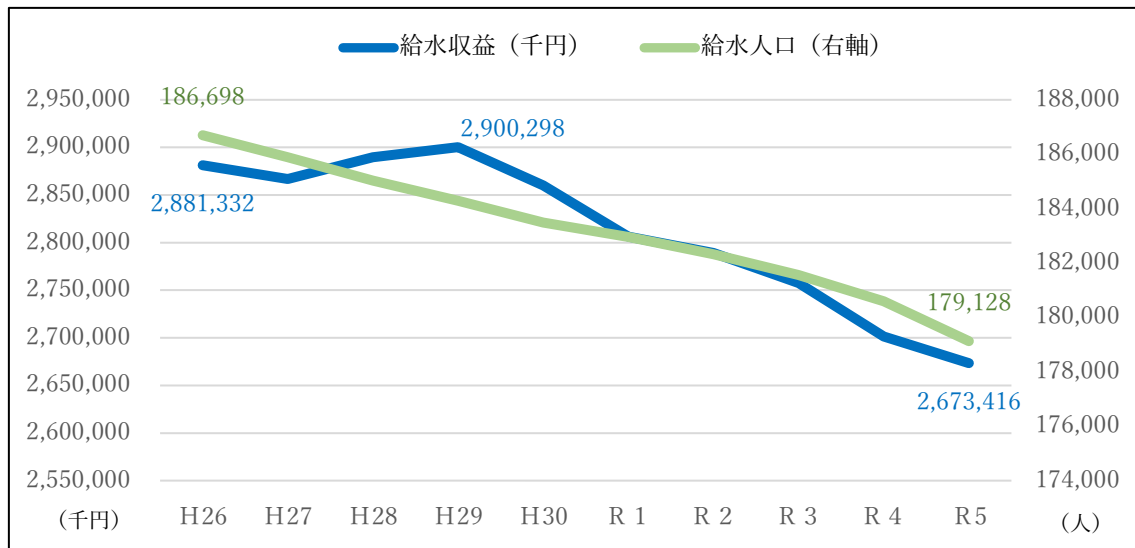
区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	増減	前年度比 (%)
人件費	788,619	760,769	722,291	△ 38,478	94.9
維持修繕費	249,120	259,673	257,867	△ 1,806	99.3
動力費	121,606	174,227	166,119	△ 8,108	95.3
損益勘定留保資金	1,268,018	1,279,120	1,268,343	△ 10,777	99.2
支払利息	143,063	135,988	133,525	△ 2,463	98.2
物件費その他	251,855	254,586	267,862	13,276	105.2
付帯事業費	100,817	95,339	89,515	△ 5,824	93.9
合計	2,923,098	2,959,702	2,905,522	△ 54,180	98.2

◆「損益勘定留保資金」…固定資産除却費の減少に伴う減少

◆「物件費その他」…原水及び浄水費の委託料の支出増加に伴う増加

7 給水収益

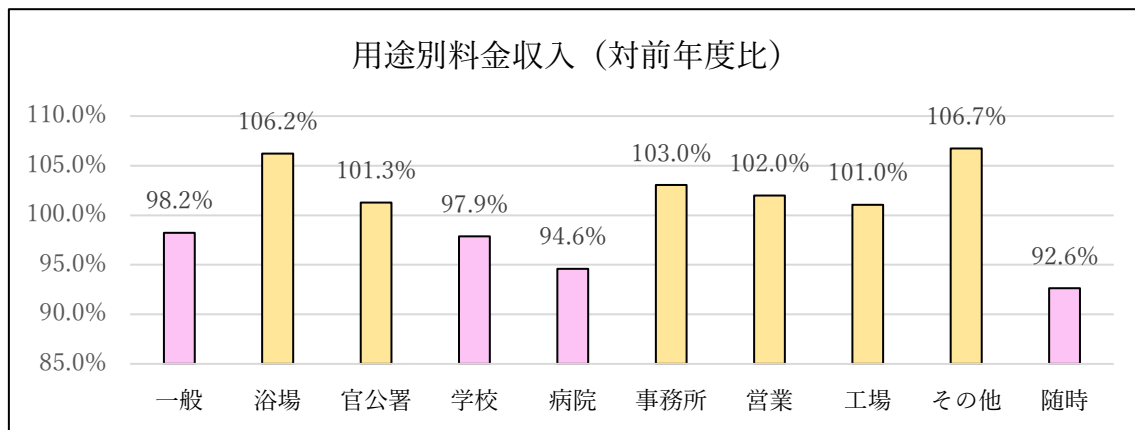
(1) 給水収益の分析



節水型機器が普及したことに加え、給水人口も引き続き減少しており、水需要は年々減少しています。それに伴い、給水収益も減少しています。(給水収益は税抜き額)

* H28年度とH29年度は大規模な凍結災害があり、給水収益が増加しています。

今後もこの傾向は続くものと予測しています。



R4年度とR5年度の用途別料金比較では、『一般』と『学校』、『病院』が減少し、それ以外は微増となりました。

『一般』の減少と『営業』の微増については、R5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことが影響していると思われます。

なお大口使用者では、『営業』の皆生温泉の旅館や『事務所』の米子空港などが同様の理由で増加したと思われます。

* 随時とは、使用中止等、定例メーター点検時以外に料金を調定したものです。

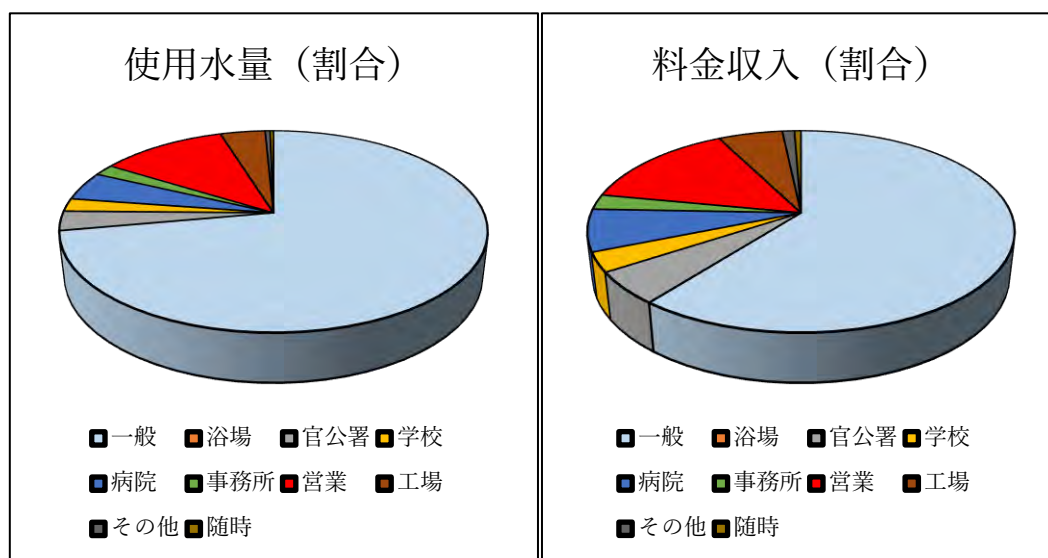
【用途別のおもな料金収入金額】

(金額は税抜き)

年度	一般	官公署	学校	病院	事務所	営業	工場
R4	1,648,725	136,265	84,798	190,524	63,204	379,385	153,560
R5	1,619,422	138,016	82,989	180,217	65,127	386,946	155,166

(2) 通増型料金の分析

左図が使用水量、右図が料金収入を用途別に割合で示したものです。



米子市は、使用水量が増加するに従い単価が上がる通増型の料金制度で、水道事業者の67.4%が採用しています。* 令和2年4月1日現在 日本水道協会より

通増制については、かつて水需要の急増に水源開発が追い付かない時代に、水需要を抑制する目的で導入されました。これは、使用水量が多くなるほど従量料金の単価を高額とするものです。

通増制の料金体系であるため、『一般』は使用水量では72.2%ですが、料金収入では60.6%となります。また、大口使用者の割合が多い、『官公署』・『病院』・『学校』・『営業』・『工場』などが使用水量の割合よりも料金収入の割合が高くなります。

一般家庭が安くなる料金設定となっている一方で、原価割れライン（使用水量：149 m³/2 か月）以下の戸数が約97%となっています。これは安定的な給水収益を確保するために、使用水量の多い需要家に過分に負担していただいているということです。

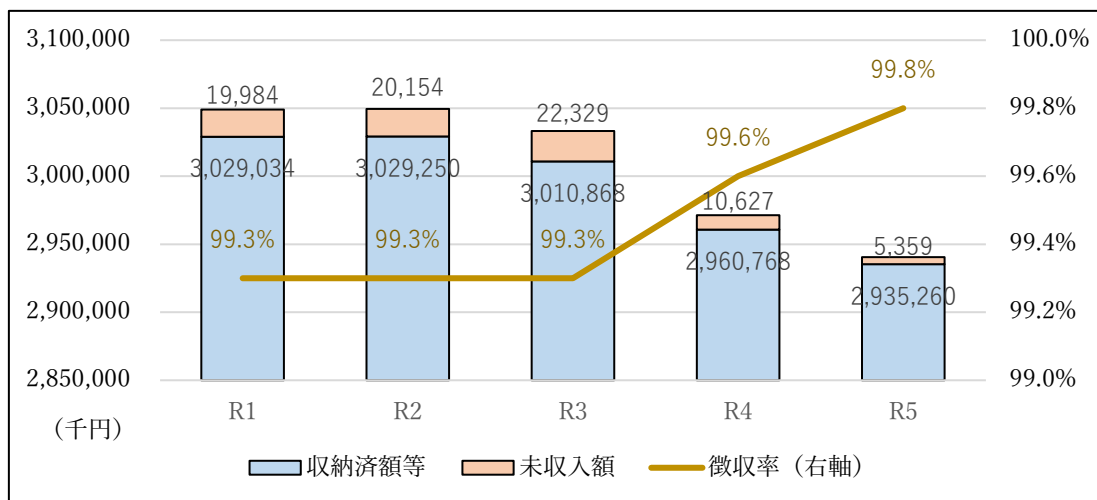
(単位：%)

	一般	浴場	官公署	学校	病院	事務所	営業	工場	その他	随時
使用水量	72.2	0.0	3.1	2.1	4.7	1.8	11.4	4.0	0.4	0.3
料金収入	60.6	0.0	5.2	3.1	6.7	2.4	14.5	5.8	1.1	0.6

(3) 徴収率の分析

給水収益の未収入額と徴収率の推移*翌年度5月時点の集計

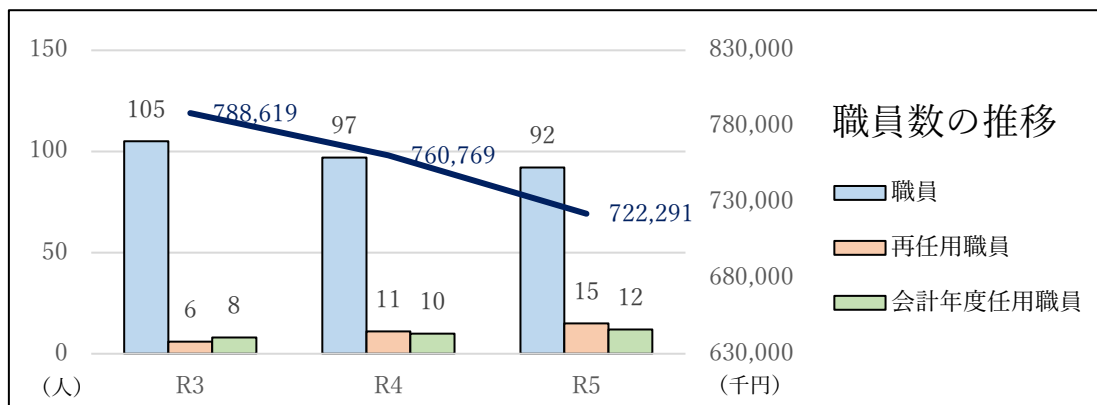
(金額は税込み)



徴収率の向上に努めており、給水停止までの対象期間を R4 は3期から2期に、R5 は2期から1期に短縮しました。対象期間を短縮するにあたり、お客様への周知を徹底し、大きなトラブルもなく実施できました。

給水収益は減少が続いていますが、この2年間でそれまで横ばいだった徴収率が0.5%上がり、未収入額も1,697万円減少しました。

8 職員数



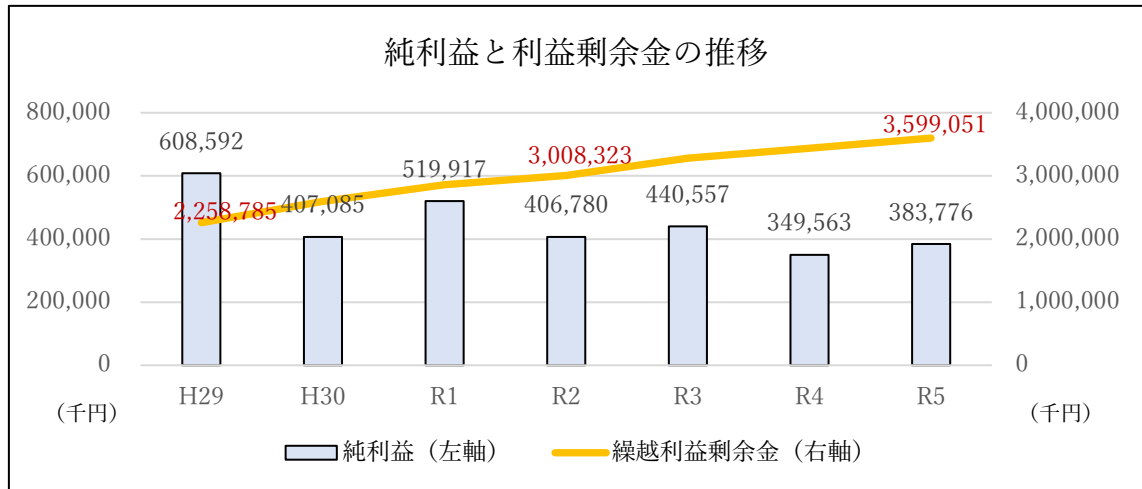
総職員数は横ばいですが、退職職員数の多くを再任用職員として採用しており、新規採用職員数が少ないため、職員の中でも再任用職員の割合が増加しています。また、会計年度任用職員も増加しています。

それにより、人件費は2年間で6,632万円減少しました。

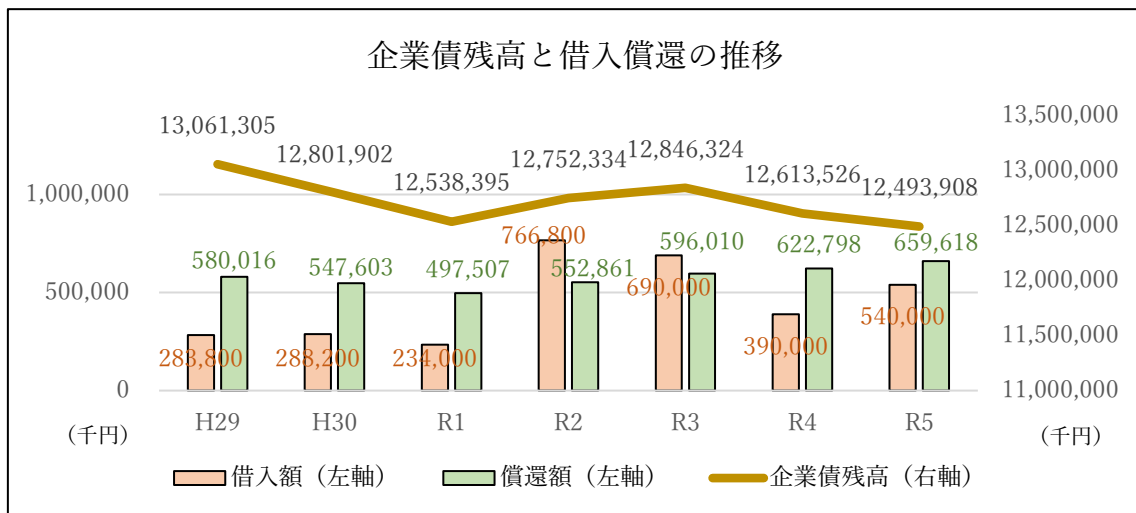
なお、R4に技術継承基本方針を策定し、技術継承に取り組んでいます。

また、災害時に備えるため、近隣市町との合同防災訓練を実施しています。

9 その他の推移（金額は税抜き）



給水収益が毎年減少するなか、人件費や施設のダウンサイジングによる費用の抑制で純利益を確保しています。R4以降は電気料金の高騰による動力費の増加が新たな純利益の減少要因となっています。繰越利益剰余金については、今後の純利益減少を見据えて、低金利を背景に企業債の借入れを行っていたことにより増加しました。



【企業債残高対給水収益比率】

(単位：%)

H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
450.3	447.6	446.8	460.0	465.9	466.9	467.3

企業債残高については、借入額を抑制し、計画的に減少させていきます。

なお、給水収益の減少割合が大きいこと、又、安価な料金体系で事業運営を行っていることから、企業債残高対給水収益比率が改善していません。

10 経営指標

	分析の考え方	R5	R4			
			米子	鳥取	松江	全国
【経常収支比率】 給水収益や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標	単年度の収支が黒字であることを示す。100%以上となっていることが必要。	113.2	111.8	103.9	108.1	109.1
【流動比率】 短期的な債務に対する支払能力を表す指標	1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がある状況を示す。100%以上であることが必要。	351.7	426.6	147.0	198.2	252.3
【企業債残高対給水収益比率】 給水収益に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を示す指標	*1	467.3	466.9	585.3	397.2	264.8
【料金回収率】 給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄われているかを表した指標	100%を下回っている場合、給水に係る費用が給水収益以外の収益で賄われていることを意味する。	108.2	106.7	84.9	86.6	97.5
【給水原価】 有収水量1m ³ 当たりについて、どれだけ費用がかかっているかを表す指標	*1	126.6	127.8	198.1	220.3	174.7
【有収率】 施設の稼働が収益につながっているかを判断する指標	100%に近いほど施設の稼働状況が収益に反映されていると言える。	91.0	90.7	90.5	93.1	89.8
【管路経年化率】 法定耐用年数を超えた管路延長の割合を表す指標	*1	17.5	16.3	22.0	28.2	23.8
【管路更新率】 当該年度に更新した管路延長の割合を示す指標	明確な数値基準はないと考えられるが、数値が2.5%の場合、全ての管路を更新するには40年かかるペースであることが把握できる。	0.78	0.78	0.88	0.82	0.66

*1 明確な数値基準はない。経年比較や類似団体との比較等により自団体の状況を把握・分析し、適切な数値となっているか、対外的に説明することが求められる。

1 1 主な建設工事

◇管路に関わる事業◇（工事費は税込み）

【基幹管路更新事業】米子市と境港市を結ぶ基幹配管を耐震化し、安定給水を図る。

工事場所 （参考資料に記載）

施工状況 鋳鉄管（φ500mm） 布設延長 795.4m

工事費 4億4,798万円 *対象工事費において1／3の補助金収入

【防衛補助事業】防衛省の補助を受け、美保飛行場周辺の重要管路の整備を行う。

工事場所 境港市小篠津町、幸神町

施工状況 鋳鉄管（φ150～φ300mm） 布設延長 199.5m

工事費 6,246万円 *対象工事費において1／2の補助金収入

【老朽管更新事業】老朽化した配水管を中心に、災害に強い管網に整備する。

工事場所 （参考資料に記載）

施工状況 ポリエチレン管（φ50～φ100mm） 布設延長 1,811.1m

工事費 1億1,077万円

【配水管改良事業】管網を整備し、災害に対し脆弱な管についても耐震化を図る。

工事場所 （参考資料に記載）

施工状況 鋳鉄管、ポリエチレン管（φ50～φ150mm） 布設延長 1,005.3m

工事費 8,463万円

【下水道関連事業】下水道工事に伴い管路を更新することで、効率的な整備を図る。

工事場所 境港市外江町、渡町、森岡町、芝町、

米子市彦名町、両三柳、陰田町、宗像、蚊屋、

施工状況 鋳鉄管、ポリエチレン管（φ50～φ150mm） 布設延長 5578.5m

工事費 3億6,522万円

◇水源施設に関わる事業◇（工事費は税込み）

【戸上水源地電気設備更新事業】老朽化した電気機械設備を更新することで、電気効率等の改善を図る。

工事場所 米子市福市

施工状況 高圧受変電設備の取替

工事費 2億7,965万円 *令和3～7年度に係る継続事業

◆損益計算書（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

損益計算書は、期間中に得たすべての収入と、これに対するすべての支出を計上して、1年間の営業成績を表したものです。

水道事業では、収益的収支の状況がこの損益計算書で表されます。

（金額は税抜き）

支出の部		収入の部	
営業費用	2,754,061	営業収益	2,935,275
原水及び浄水費	397,612	給水収益	2,673,416
配水費	253,473	受託工事収益	100,898
給水費	108,920	加入者納付金	35,258
受託工事費	89,515	その他営業収益	125,703
業務費	255,951		
総係費	311,778		
減価償却費	1,240,641		
資産減耗費	96,171		
営業外費用	145,438	営業外収益	353,906
支払利息及び企業債取扱諸費	133,525	受取利息及び配当金	920
雑支出	11,913	他会計補助金	7,431
		長期前受金戻入	339,825
		雑収益	5,730
特別損失	6,022	特別利益	116
固定資産売却損	107	過年度損益修正益	116
過年度損益修正損	1,268		
その他特別損失	4,647		
当年度純利益	383,776		
合 計	3,289,297	合 計	3,289,297

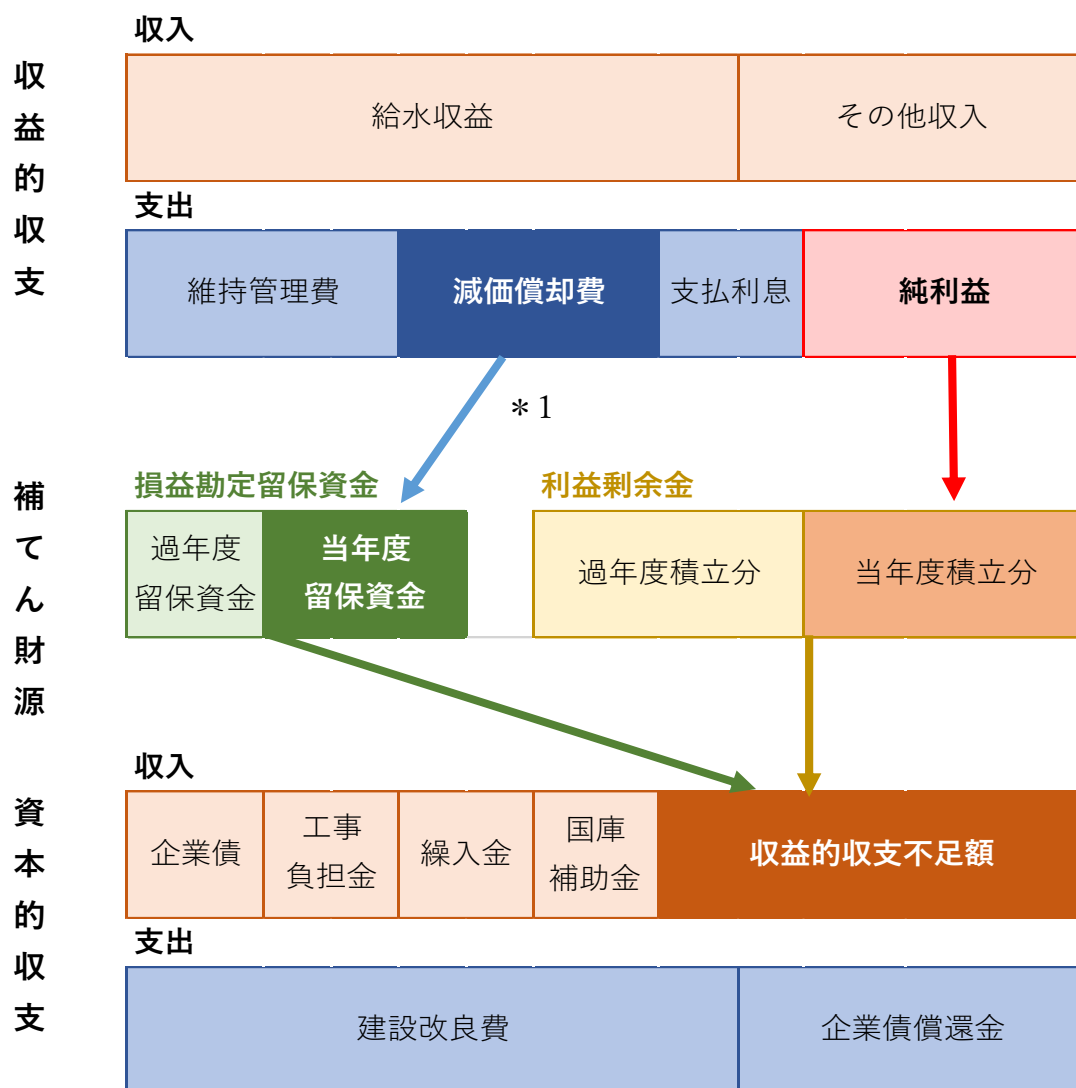
◆貸借対照表（令和6年3月31日現在）

貸借対照表は、財政状況を明らかにするため、決算時において保有しているすべての資産、負債及び資本を対比して、投入された資本がどのような機能を発揮して、どのように運用されているのかを示すものです。

資産の部		負債の部	
固定資産	34,821,764	固定負債	13,096,766
有形固定資産	34,820,235	企業債	11,822,437
無形固定資産	1,529	引当金	1,274,329
流動資産	5,726,221	流動負債	1,628,247
現金預金	5,058,997	企業債	671,471
未収金	466,410	未払金	711,221
貯蔵品	7,631	未払費用	66,630
前払金	193,183	前受金	57,685
		引当金	61,489
		預り金	59,751
		繰延収益	8,616,343
		長期前受金	8,616,343
		負債合計	23,341,356
		資本の部	
		資本金	13,006,003
		自己資本金	13,006,003
		剰余金	4,200,626
		資本剰余金	28,597
		利益剰余金	4,172,029
		資本合計	17,206,629
資産合計	40,547,985	負債・資本合計	40,547,985

◆公営企業会計の仕組み

公営企業は「給水収益」「企業債」「工事負担金」「国庫補助金」「繰入金」等を財源とし、経営を行います。



* 1 減価償却費以外にも、資産減耗費など他の非現金支出の合計額から、非現金収入（長期前受金戻入）を除いた額が内部留保されます。